平成30年度 授業シラバスの詳細内容

科目名(英)	ゼミナールⅣ (Seminar Ⅳ) 【松下ゼミ】			授業コード	E002705
担当教員名	松下 乾次			科目ナンバリングコード	E41204
配当学年	4	開講期	通年 後期入学生用		
必修・選択区分	必修	単位数	4		
履修上の注意または履修条件	特になし。				
受講心得	出席が必須です。課題(卒業研究論文と発表)をしっかり達成してください。				
教科書	谷本寛治『CSR 企業と社会を考える』(NTT出版)				
参考文献及び指定図書	授業で、個別に指示します。				
関連科目	特になし。各自卒業研究で選択したテーマに関連して幅広く履修してほしい。				

授業の目的	「現代の企業・組織の課題」を統一テーマに、それぞれゼミナール学生が進む業界〈業種)、企業の個別の課題を、論文にまとめる。そして、発表する。とくに、企業(行政組織も)がステイクホルダーとどのように協働し、社会的課題・地域的課題に取り組んでいるかをまとめていく。
授業の概要	ゼミナールⅢに引き続き、企業の社会的責任(CSR)をいっしょに考えていく。後期は、まず卒業研究論文を個別に指導し、11月に論文を完成させ、12月・1月に順次その成果を発表し、議論していく。

○授業計画	
学修内容	学修課題(予習・復習)
第 1 週 : ゼミナールⅣガイダンス ゼミナールⅣのスケジュール、卒業研究論文について。	
第 3 週 : 5章企業の社会的貢献活動の広がり 2. ユニークな試み 教科書の事例以外に、ユニークな社会貢献活動を探る。 **第4週: 第5章 3. NPO/NGOとのコラボレーション事例** 教科書の事例以外に、企業とNPO、さらに自治体のコラボレーション事例を探る。	教材等を熟読し予習復習する(1h2h)。議論に参加し、ゼミナール終了後、ポイントをノートに整理し復習する。
第 5 週 : 第5章 4. コーズ・リレイティッド・マーケティング **第6週: 第5章 5. 社会貢献活動をマネージメントする**	教材等を熟読し予習復習する(1h2h)。議論に参加し、ゼミナール終了後、ポイントをノートに整理し復習する。
第 7 週 : 第6章 持続可能な社会経済システムを求めて 1. 持続可能な企業と社会の関係 **第8週: 持続可能な社会システムに関して、国際的動向、国連の動きを見る。**	教材等を熟読し予習復習する(1h2h)。議論に参加し、ゼミナール終了後、ポイントをノートに整理し復習する。5章を要約して提出する。
第 9 週 : CSVについて マイケルE・ポーター「共通価値の戦略」 **第10週:CSVについて マイケルE・ポーター「共通価値の戦略」**	教材等を熟読し予習復習する(1h2h)。議論に参加し、ゼミナール終了後、ポイントをノートに整理し復習する。5章を要約して提出する。

第11週：CSVについて　マイケルE・ポーター「共通価値の戦略」 **第12週：主要企業のCSR報告書・統合報告書を分析**	教材等を熟読し予習復習する（1h2h）。議論に参加し、ゼミナール終了後、ポイントをノートに整理し復習する。5章を要約して提出する。
第13週：主要企業のCSR報告書・統合報告書を分析 **第14章　：　主要企業のCSR報告書・統合報告書を分析**	教材等を熟読し予習復習する（1h2h）。議論に参加し、ゼミナール終了後、ポイントをノートに整理し復習する。5章を要約して提出する。
第15週：　主要企業のCSR報告書・統合報告書を分析 前期の終了にあたって、卒業研究論文作成に向けて、CSRについての各自の意見がまとめられたものを提出する。夏季休暇中は、各自でCSR白書等を調べ論文作成に努める。	
後　　期　第16週：　後期のスケジュール、卒業研究論文の進捗状況の報告 **第17週　：主要企業のCSR報告書・統合報告書を分析**	教材等を熟読し予習復習する（1h2h）。議論に参加し、ゼミナール終了後、ポイントをノートに整理し復習する。5章を要約して提出する。
第18週：主要企業のCSR報告書・統合報告書を分析 **第19週　：主要企業のCSR報告書・統合報告書を分析**	教材等を熟読し予習復習する（1h2h）。議論に参加し、ゼミナール終了後、ポイントをノートに整理し復習する。5章を要約して提出する。
第20週：主要企業のCSR報告書・統合報告書を分析 **第21週　：CSRの実例**	教材等を熟読し予習復習する（1h2h）。議論に参加し、ゼミナール終了後、ポイントをノートに整理し復習する。5章を要約して提出する。
第22週：　CSRの実例 **第23週　：　CSRの実例**	教材等を熟読し予習復習する（1h2h）。議論に参加し、ゼミナール終了後、ポイントをノートに整理し復習する。5章を要約して提出する。
第24週：行政、公共部門から見た社会貢献活動：特に地域・環境問題 **第25週　：行政、公共部門から見た社会貢献活動：特に地域・環境問題**	**卒業研究論文完成目処** 教材等を熟読し予習復習する（1h2h）。議論に参加し、ゼミナール終了後、ポイントをノートに整理し復習する。5章を要約して提出する。
第26週：　行政、公共部門から見た社会貢献活動：特に地域・環境問題	

第27週　：　中国等外国のCSRの動向	教材等を熟読し予習復習する（1h2h）。議論に参加し、ゼミナール終了後、ポイントをノートに整理し復習する。5章を要約して提出する。
第 28 週：　発表会と議論 卒業研究論文の完成。ゼミナール内で発表会（質疑応答）を行い、代表選出。 **第29週　：　発表会と議論**	
第 30 週：発表　代表選出 **学部発表会**	

授業の運営方法	（1）授業の形式	「演習等形式」
	（2）複数担当の場合の方式	
	（3）アクティブ・ラーニング	「アクティブ・ラーニング科目」
地域志向科目	カテゴリー Ⅲ：地域における課題解決に必要な知識を修得する科目	
備考		

○単位を修得するために達成すべき到達目標	
【関心・意欲・態度】	企業の社会的責任について、各自の進路と関係させて考える。
【知識・理解】	企業の社会的責任についての一般的理解を学習し、その意義・課題を理解する。
【技能・表現・コミュニケーション】	企業の社会的責任について、各自の進路と関係させ、具体的事例にそくしてまとめる。
【思考・判断・創造】	企業の社会的責任について、独自の見解を示す。

○成績評価基準（合計100点）			合計欄	100点
到達目標の各観点と成績評価方法の関係および配点	期末試験・中間確認等（テスト）	レポート・作品等（提出物）	発表・その他（無形成果）	
【関心・意欲・態度】 ※「学修に取り組む姿勢・意欲」を含む。		10点		
【知識・理解】 ※「専門能力〈知識の獲得〉」を含む。		30点		
【技能・表現・コミュニケーション】 ※「専門能力〈知識の活用〉」「チームで働く力」「前に踏み出す力」を含む。		30点	10点	
【思考・判断・創造】 ※「考え抜く力」を含む。		10点	10点	

（「人間力」について）

※以上の観点に、「こころの力」（自己の能力を最大限に発揮するとともに、「自分自身」「他者」「自然」「文化」等との望ましい関係を築き、人格の向上を目指す能力）と「職業能力」（職業観、読解力、論理的思考、表現能力など、産業界の一員となり地域・社会に貢献するために必要な能力）を加えた能力が「人間力」です。

○配点の明確でない成績評価方法における評価の実施方法と達成水準の目安	
成績評価方法	評価の実施方法と達成水準の目安
レポート・作品等（提出物）	
発表・その他（無形成果）	